

令和5年度宮城県食品衛生監視指導計画に関するパブリックコメントの意見及び対応等

番号	意見（要約）	対応等
第3重点取り組みに関すること		
1	<p>意図しないアレルゲンの混入防止のため、アレルギー対応食を導入している乳幼児施設、学校等給食施設に対して指導、監視を行うことについて追記していただきたい。</p> <p>他同様意見3件</p>	<p>御意見を踏まえ、給食施設を含む食品製造施設の監視時に、HACCPに沿った衛生管理の一貫として、引き続き関係部署と連携し、食物アレルギーに対策に取り組んでまいります。</p>
2	<p>外国人観光客に対するアレルゲンの情報提供と事業者の支援について追記していただきたい。</p> <p>他同様意見3件</p>	<p>御意見を踏まえ、今後取組を進める際の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>食中毒予防月間等での県民への啓発の際、外国人への啓発について追記していただきたい。</p> <p>他同様意見3件</p>	<p>御意見を踏まえ、今後取組を進める際の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>「みやぎ食の安全安心消費者モニター」アンケート結果から食品中の放射性物質に対する不安が継続している状況である。県民の不安感解消のためにも、HPを含む情報提供の強化や方法を見直すなどの改善を求めます。</p> <p>他同様意見3件</p>	<p>御意見を踏まえ、引き続き関係部署と連携し、放射性物質検査結果のHPによる広報のほか、みやぎの食に関する各種セミナー等での情報提供及び安全・安心な県産品の広報・PR及び消費者への啓発等の実施の充実について検討してまいります。</p>
5	<p>輸入食品の安全性に関する県民の不安感払拭のために、監視指導及び検査を実施した上で安全が確保された食品が流通していることなど、県民への啓発を行うことを分かりやすく追記していただきたい。</p> <p>他同様意見3件</p>	<p>御意見を踏まえ、引き続き輸入食品の検査や表示の監視を実施するとともに、今後も、関係部署と連携し、消費者への啓発等を実施してまいります。</p>

第4 監視指導に関すること	
<p>6</p> <p>健康食品による被害の未然防止・拡大防止に向け、担当部署と連携・協力して、健康食品の表示、広告、販売方法等の適正化を図るため、健康食品取扱事業者を対象とした講習会を実施すること、健康被害拡大防止を図るため県民への啓発を行うことに関する文章を追記していただきたい。</p> <p>他同様意見3件</p>	<p>御意見を踏まえ、健康食品等の安全性の情報も含め、担当部署と連携・協力し、ホームページ等による啓発を継続してまいります。また、今後も事業者への事前指導を中心とした監視指導や表示に関する情報提供をしてまいります。</p> <p>以下のとおり本文を修正しました。</p> <p>16ページ</p> <p>第6 県民との意見交換及び情報提供</p> <p>4 消費者への食品等による健康被害発生防止のための情報提供</p> <p>(2) <u>食品等の安全性に関する情報</u></p> <p>イ <u>食品(健康食品を含む)</u>等の安全性や自主回収*に関する情報は、随時ホームページ等を通じて消費者等に注意喚起するほか、健康被害の発生を防止するために必要な情報については、報道機関への情報提供を行う等、正確で迅速な公表に努める。</p>
第6 県民との意見交換及び情報提供に関すること	
<p>7</p> <p>県民との食品安全に関する意見交換を効果的に推進するため、食品の安全に関する様々なテーマについて、県民、食品等事業者、行政等が情報共有や意見交換を通じ、食品安全に係る関係者相互間の理解が進むような意見交換会等が開催できるようリスクコミュニケーションを行い、食品安全についての正しい情報を分かりやすく伝えること、食品の安全性に関する科学的な理解の普及に努めることなどを行うことが必要なことから、第6 県民との意見交換及び情報提供の1～4の項目ほかに、リスクコミュニケーションの推進についての項目を追加していただきたい。</p> <p>他同様意見3件</p>	<p>御意見を踏まえ、県民との意見交換及び情報提供を実施する際に、今後もリスクコミュニケーションの推進の充実について検討してまいります。</p> <p>以下のとおり本文を修正しました。</p> <p>16ページ</p> <p>第6 県民との意見交換及び情報提供</p> <p>3 意見・情報交換</p> <p>消費者・生産者・事業者及び行政等が協働して食の安全安心の確保に向けた取組を推進するため県民総参加運動を展開し、「食の安全安心消費者モニター」を対象としたアンケート調査を行うとともに、「食の安全安心セミナー」や「食品工場見学会及び生産者との交流会」、「地方懇談会」を開催し、情報交換等を通して相互理解を深め、<u>リスクコミュニケーションの充実を図る。</u></p>